

令 8 公財 SGH 発 3 号
令和 8 年 4 月 6 日

日本甲状腺学会
理事長 橋本 貢士 様

公益財団法人 S G H 財団
理事長 栗和田 榮一



第 24 回 S G H 特別賞候補者ご推薦のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当財団の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
当財団は、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、
がんに関する基礎及び応用研究に対する助成、褒賞等の支援事業、東
南アジア諸国からの外国人留学生に対する支援事業、経済、産業活動
を支える運輸、物流に関する支援事業を行っております。その事業の
一環として、平成 15 年度よりがんの基礎及び臨床研究に顕著な功績を
挙げ、かつ今後の発展が期待される方を対象として標記の賞を贈呈し
ております。
つきましては、第 24 回（2026 年度）S G H 特別賞候補者を同封の
推薦要領のとおり募集いたしますので、ご推薦賜りたくお願い申し上
げます
何卒、宜しくお願い申し上げます。

謹 白

記

同封書類

第 24 回 S G H 特別賞候補者推薦書類 1 式

以 上

第 24 回 S G H 特別賞候補者推薦書

2026 年 月 日

公益財団法人 S G H 財団
理事長 栗和田 榮一 殿

1. 候補者	
ふりがな 氏 名	学位 生年月日 年 月 日 (歳)
所属機関・役職	
所在地	〒
	TEL
	E-mail
2. 候補者の研究テーマ	
3. 候補者の略歴	
年 月	

上記のとおり第 24 回 S G H 特別賞の受賞候補者を推薦します。	
ふりがな 推薦者氏名	印
所属機関・役職	
所在地	〒
	TEL
	E-mail

* 所属機関欄はできるだけ細部（教室、研究室または診療科など）まで記入して下さい。

4. 推薦理由（業績の内容、特徴などを詳細に説明して下さい）

5. 業績目録（全著者：題目、誌名、巻、頁、年を記載して下さい。）

※代表論文（10編以内）に○印をお付け下さい。可能であれば、添付して下さい。

第 24 回（2026 年度） S G H 特別賞候補者推薦要領

公益財団法人 S G H 財団

1. S G H 特別賞の対象

本財団は、がんの基礎及び臨床研究に対する研究助成を行うとともに、学際的領域における先駆的、独創的な研究を育成し、これらの成果を医療に応用して、わが国の医療及び国民の健康向上に資することを目的として設立されました。その活動の一環として、上記の研究に顕著な功績を挙げられ、かつ今後の発展が期待される方に S G H 特別賞を贈呈いたします。

2. 賞金金額

1 件 500 万円（2 件以内）

3. 推薦方法

(1) 推薦者は、以下のご施設の学長、学部長、研究科長、病院長、センター長等の所属長といたします。

- ・ 医学部を置く大学
- ・ 国公立大学附属病院（本院）
- ・ 日本医学会分科会
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院
- ・ 全国がんセンター協議会加盟施設

※ 上記以外に、下記の皆様にも推薦を依頼しております。

- ・ 本財団より推薦を依頼する学識経験者
- ・ 本財団の理事、評議員及び顧問、委員

(2) 推薦者におかれましては、候補者推薦書に必要事項をご記入いただき、記名、捺印の上、本財団ホームページ（<https://www.sgh-foundation.or.jp>）S G H 特別賞推薦フォーム、または、郵送にてお送り下さい。

推薦件数は、1 推薦機関につき 1 件といたします。

※ 研究の概要及び社会的影響を記載して下さい。

推薦書は、本紙または本財団ホームページ（<https://www.sgh-foundation.or.jp>）からダウンロードしてご使用下さい。

4. 締切期日

2026 年 6 月 30 日（当日の消印有効）

5. 選考の方法

本財団の選考委員会が受賞候補者の選考を行い、理事会の承認を経て決定いたします。

6. 贈呈式の開催

2026 年 12 月 5 日（土）、京都市内を予定

受賞者には、贈呈式にご出席いただくことを必須としております。

7. 研究成果の報告

受賞者には、2027 年 10 月頃、別途送付する作成要領に従い、「研究報告書」を必ずご提出いただきます。

- 「研究報告書」は、8,000 字（6～10 頁）程度（図表を含む）にまとめ、ワープロソフトによる A4 版で作成していただきます。

8. 「研究報告書」の発刊・配布

前記の研究報告書は、本財団において編集し、2028 年 3 月頃発刊し、関連する全国の大学、研究所、病院等に配布いたします。

問い合わせ先：

公益財団法人 S G H 財団 事務局

〒600-8009

京都市下京区函谷鉾町 79

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

TEL 075-255-9310 / FAX 075-255-9311

e-mail info_cr@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp/>



「SGH特別賞」受賞者一覧

(五十音順・受賞時所属)

「佐川特別研究助成賞」

※第14回(平成28年度)からSGH特別賞に名称を変更

第1回 (平成15年度)	内山 卓 氏	京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学教授 成人T細胞白血病(ATL)の発症機構解明と有効な治療法開発に関する研究
	若林 敬二 氏	国立がんセンター研究所副所長 大腸がん化学予防剤の基礎的研究とその臨床応用
第2回 (平成16年度)	清木 元治 氏	東京大学医科学研究所副所長 東京大学医科学研究所癌・細胞増殖大部門腫瘍細胞社会学分野教授 癌の悪性形質発現に関わる膜型マトリックスメタロプロテアーゼ MT1-MMPの発見と機能解析
	武藤 誠 氏	京都大学大学院医学研究科遺伝薬理学教授 腸ポリープ症におけるシクロオキシゲナーゼの役割解明とその治療薬 及び腸癌予防薬の開発
第3回 (平成17年度)	河上 裕 氏	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所所長 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門教授 ヒト腫瘍抗原同定による抗腫瘍免疫応答解析と免疫療法の開発
	福岡 正博 氏	近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門教授 進行肺癌における標準的治療の確立に関する研究
第4回 (平成18年度)	岩本 幸英 氏	九州大学大学院医学研究院整形外科教授 Ewing肉腫の発がん機構解明と分子標的治療開発に関する研究
	江角 浩安 氏	国立がんセンター東病院臨床開発センターセンター長 がん組織の血流不足に着目した新しい治療法の開発とキガマイシンな どの候補薬の発見
第5回 (平成19年度)	西條 長宏 氏	国立がんセンター東病院副院長 悪性腫瘍に対する国際的標準治療の確立
	野田 亮 氏	京都大学大学院医学研究科分子腫瘍学領域教授 生物活性に基づくがん関連遺伝子の探索と機能解析

第 6 回 (平成 20 年度)	佐谷 秀行 氏	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門教授 細胞周期および細胞接着制御異常を基盤とする悪性化機構の解析
	松田 道行 氏	京都大学大学院医学研究科病態生物医学教授 がん遺伝子情報伝達系の時空間制御機構
第 7 回 (平成 21 年度)	上田 龍三 氏	名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学教授 名古屋市病院局長 成人 T 細胞性白血病に対する新規治療法の開発研究
	間野 博行 氏	自治医科大学医学部ゲノム機能研究部教授 東京大学大学院医学系研究科ゲノム医学講座教授 肺がんの新規原因遺伝子の発見と分子標的治療剤開発
第 8 回 (平成 22 年度)	佐治 英郎 氏	京都大学大学院薬学研究科研究科長・教授 腫瘍画像診断のための放射性分子イメージングプローブの創製
	野田 哲生 氏	財団法人癌研究会理事・癌研究所所長 ヒト発がんモデルマウスの確立と新規分子標的治療法開発への応用

「佐川特別賞」

※第 14 回（平成 28 年度）から S G H 特別賞に名称を変更

第 9 回 (平成 23 年度)	笹子 三津留 氏	兵庫医科大学上部消化管外科主任教授 胃がんにおける標準的手術療法の確立とリンパ節郭清手技の海外への普及
	畠山 昌則 氏	東京大学大学院医学系研究科微生物学分野教授 ピロリ菌感染を基盤とする胃がん発症機構
第 10 回 (平成 24 年度)	高井 義美 氏	神戸大学大学院医学研究科分子細胞生物学分野教授 接着分子ネクチンを標的とするがん治療への基礎研究
	平岡 真寛 氏	京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学分野教授 早期肺がんに対する定位放射線治療の開発と臨床評価に関する研究

第 11 回 (平成 25 年度)	今井 浩三 氏	東京大学医科学研究所附属病院病院長 東京大学医科学研究所附属病院抗体・ワクチンセンターセンター長 免疫細胞・薬物送達のための革新的抗体薬の開発
	森 正樹 氏	大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授 消化器癌の癌幹細胞研究
第 12 回 (平成 26 年度)	小川 誠司 氏	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学（病理学第二講座）教授 骨髄異形成症候群の遺伝学的基盤の解明に関する研究
	直江 知樹 氏	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター院長 白血病における分子病態の解明と新規治療法の開発
第 13 回 (平成 27 年度)	坂元 亨宇 氏	慶應義塾大学医学部教授 肝細胞がんの早期診断・悪性度診断に関する研究
	湊 長博 氏	京都大学大学院医学研究科教授 ガンに対する免疫応答機構の解明とガン免疫療法の開発

「SGH特別賞」

第 14 回 (平成 28 年度)	小西 郁生 氏	独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長 卵巣癌の発生および進展機序の臨床病理学的多様性とそのゲノム解析に基づく新規治療法の開発
	柴田 龍弘 氏	東京大学医科学研究所ゲノム医科学分野教授 国立がん研究センターがんゲノミクス研究分野分野長 治療から予防までを包含するゲノム医療実現の基盤となる固形がんの包括的ゲノム解読
第 15 回 (平成 29 年度)	井垣 達吏 氏	京都大学大学院生命科学系研究科システム機能学分野教授 細胞競合によるがん細胞制御の発見とそれを利用した新規がん治療法開発のための基礎的研究
	白土 博樹 氏	北海道大学大学院医学研究院教授 動体追跡放射線治療研究

第 16 回 (平成 30 年度)	工藤 正俊 氏	近畿大学医学部消化器内科学主任教授 肝細胞癌の診断と治療、特に新規薬剤・新規治療法の開発研究
	西山 正彦 氏	群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学教授 群馬大学学長特別補佐 難治性がんトランスレーショナル・リサーチ：医療シーズの策定から臨床開発研究まで
第 17 回 (令和元年度)	小野 公二 氏	大阪医科大学関西 BNCT 共同医療センターセンター長・教授 原子炉中性子によるホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) 研究と加速器中性子システムによる高度化
	酒井 敏行 氏	京都府立医科大学創薬センターセンター長 京都府立医科大学大学院医学研究科創薬医学特任教授 ファースト・イン・クラスかつベスト・イン・クラスの新規 MEK 阻害剤 (商品名メキニスト) の発見
第 18 回 (令和 2 年度)	津金 昌一郎 氏	国立研究開発法人国立がん研究センター社会と健康研究センター長 科学的根拠に基づいた日本人のためのがん予防法の開発と普及
	松岡 雅雄 氏	熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科教授 ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型による発がん分子機構に関する研究
第 19 回 (令和 3 年度)	菊池 章 氏	大阪大学大学院医学系研究科分子病態生化学教授 Wnt シグナルによる細胞機能制御とその異常によるがんの病態
	戸井 雅和 氏	京都大学大学院医学研究科外科学講座乳腺外科学分野教授 乳癌の診断、治療法の研究：新しい手術法、画像診断機器、薬物療法の開発
第 20 回 (令和 4 年度)	宮城 悦子 氏	横浜市立大学医学部産婦人科学教室主任教授 卵巣がんの新規腫瘍マーカー開発と実用化研究および子宮頸がん予防に関する社会医学研究
	吉野 孝之 氏	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院副病院長(研究担当)・消化管内科科長・医薬品開発推進部門長 大腸がん薬物療法の世界的標準治療の確立とがん個別化医療の開発・研究
第 21 回 (令和 5 年度)	藤堂 具紀 氏	東京大学医科学研究所先端医療研究センター先端がん治療分野教授 遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いたがんのウイルス療法の開発と実用化
	西川 博嘉 氏	国立がん研究センター研究所腫瘍免疫研究分野分野長 がん組織の免疫ゲノム融合解析の樹立と新規がん免疫ゲノム医療への展開

<p>第 22 回</p> <p>(令和 6 年度)</p>	<p>落谷 孝広 氏</p>	<p>東京医科大学医学総合研究所特任教授</p> <p>細胞外小胞であるエクソソームによるがんの転移メカニズムの解明と診断治療への応用</p>
	<p>北川 雄光 氏</p>	<p>慶應義塾大学医学部外科学教授</p> <p>食道癌に対する集学的治療、低侵襲治療の開発研究</p>
<p>第 23 回</p> <p>(令和 7 年度)</p>	<p>河野 隆志 氏</p>	<p>国立がん研究センターがんゲノム情報管理センターセンター長</p> <p>新規モダリティの発見・開発・実装によるがんゲノム医療の推進</p>
	<p>溝脇 尚志 氏</p>	<p>京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学教授</p> <p>革新的高精度画像誘導放射線外部照射装置および照射技術の研究開発と臨床展開</p>